



環境省

2004年 土壌汚染対策セミナー

# 土壌汚染とリスクコミュニケーション —環境コミュニケーション成功の鍵を考える—



主催 環境省、財団法人 日本環境協会  
後援 (予定) 社団法人 日本経済団体連合会、社団法人 土壌環境センター

## 開催趣旨

企業活動においては、近年、企業市民としての様々な自主的取り組みを推進することの重要性が高まっています。環境問題への取り組みについても企業の存在と活動に必須の要件となっています。

土壌汚染問題については、土壌汚染対策法が成立したことによって、社会的な問題となる汚染とは何か、調査や対策はどのようにすればよいかなどのルールが定められました。このことによって、土壌汚染はそれが発見されること自体が問題となる時代から、発見された汚染の状況や行おうとする対策について社会とのコミュニケーションが行われないことが問題とされる時代へと移ろうとしています。

土壌汚染対策を円滑に進めていくためには、事業者・自治体だけでなく、事業者が企業市民として存在しているコミュニティの住民を含めたすべての利害関係者が、汚染による環境リスクやその低減のための対策内容について、透明な意思疎通を図る「リスクコミュニケーション」がますます重要になっています。しかし、このコミュニケーションをどのように行えばよいか不安を感じてしまう企業も少なくありません。

本セミナーでは、自らの土地の土壌汚染問題に直面した事業者の方々のために、説明する側、される側、行政の立場それぞれの観点から、各方面の有識者の方々にご講演いただきリスクコミュニケーション成功の鍵は何か考えたいと思います。

## プログラム

14:00 ~ 14:05	開会・挨拶	財団法人 日本環境協会
14:05 ~ 14:15	【特別報告】 土壌汚染対策の状況について	環境省 水環境部長
14:20 ~ 14:50	【講演①】 土壌汚染が明らかになった段階で、最初にするべきこと… 情報の開示 —住民が理解しやすい説明の方法と タイミングについて— (仮題)	弁護士、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民 会議常任幹事、日本地質汚染審査機構理事 佐藤 泉氏
14:55 ~ 15:25	【講演②】 リスクコミュニケーションの事例について (仮題)	清水建設 株式会社 エンジニアリング事業本部 土壌環境本部長 近藤 司氏
15:30 ~ 16:00	【講演③】 リスクコミュニケーションの事例について (仮題)	国際航業 株式会社 地盤環境エンジニアリング事業部長 前川 統一郎氏
16:05 ~ 16:35	【講演④】 行政としてのリスクコミュニケーションの あり方について (仮題)	愛知県 環境部廃棄物対策監 坂部 孝夫氏
16:40 ~ 17:00	指定支援法人の業務について	財団法人 日本環境協会

<キリトリ線>

郵便はがき

1 0 6 0 0 4 1

お手数ですが  
50円切手を  
貼ってお出し  
下さい

東京都港区麻布台1-11-9

プライム神谷町ビル2F

財団法人 日本環境協会

「土壌汚染とリスクコミュニケーション」

セミナー係行